



ロータリー：
変化をもたらす

週報

入間ロータリークラブ



Rotary
第 2570 地区



2017-2018 年度 RI 会長:イアン ライズリー RI2570 地区ガバナー: 細井保雄 会長:関谷永久 幹事:宮崎正文

第 46 号 3027 回例会 2018 年 6 月 21 日 (木)

『ロータリーっていいですね!』

<会長の時間> 関谷永久会長



本日は当例会場での会長の時間は最終となりました。今回は最終回ロータリーの看板と言われている職業奉仕に付いて考えました。実は一月の職業奉仕月間では職業奉仕の話が難しすぎて纏まらず、出来ませんでした。今回は拙文ではありますがお話を致します。

シカゴロータリークラブにアーサーF シェルドンが入会した 1908 年から彼の職業奉仕の概念である He profits most who serves best の提唱によりロータリーの運命は大きく変貌し、殺伐としたシカゴの街だけでなくアメリカの政治、経済にも大きく影響を与えました。

1923 年に奉仕の理念と奉仕活動の実践の調和が決まってロータリー活動の道筋が明確になりました。そして正式に四大奉仕が決まり、職業奉仕が出来たのは 1927 年ベルギーの国際大会であります。

ロータリー創設以来 113 年経った今日、

世界・日本の環境の変化は凄まじいのであります。日々変化に対応するべく RI に於いても職業奉仕の考え方も変化し、ついに 2016 年の規定審議会では制定案 16-10「奉仕の第二部門を改正する件」が採択されました。その部分とは職業奉仕は>>>そして『自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てる為に、クラブが開発したプロジェクトに応える事』であります。つまり無報酬での職業研修チーム VTT や海外での診療奉仕なども個人が行うものであれ、クラブで行ってもクラブの活動であれば全て職業奉仕として扱われます。即ちシェルドンが言っている、奉仕に見合う報酬は恥ずべきことではなく当然の行為であり職業奉仕である、とは一線を隔すものです。

ロータリーの友 2017 年 1 月号では本田 PDG は『職業奉仕はロータリーの根幹か』の中で制定案 16-10 にて第二の奉仕の基本枠組みが決まったとして、職業奉仕という言葉が無かった時代のシェルドンの奉仕の理念を職業奉仕で語ったりするのは少し強引ではないか、むしろ職業倫理や高潔性に関する日本のロータリアンの伝統的な知恵を「奉仕の理念」で世界に発信していく事が肝要です。と言っています。そして日本のロータリーの 100 周年に当たる 2020 年に向けて 100 年委員会が世界のロータリーと日本のロータリーとの意識のギャップを示す大きなものとして「職業奉仕」と言う言葉の受け止め方と解釈を再考する必要を委員会に提起しているとの事です。

私はロータリーの奉仕の理念とその実践形態は変化する時世に依って変化するもの、時代が変わっても変わらないもの、変ってはいけないもの、があると思います。私達はそれを見抜いていかなければいけないのです。まさに俳人松尾芭蕉が説かれた不易流行の世界であります。本年一月のロータリーの友に松宮 剛 RI 元理事は「職業奉仕について考える」の中で次の様に言っています。社会が変化するが如く他人のニーズも変化し、結局他人のニーズに合わせなければその人の為になってない事から、必然的に「他人本位」に根本の義を置かなければなりません。夏目漱石の言葉の『収捨興廢の権威は共に自己の手中には無い』との通りであります。

つまり職業は受け手の側にこそ主導権があり「自分の為にすることは、即ち人の為にすることだ」と言う事です。現代企業の取り組みに於いても法令順守（コンプライアンス）、企業の社会的責任 CSR (corporate social responsibility) を十分に考慮した信頼を軸に成り立つ様になりました。

私達は職業奉仕について考えるに当たり、二つの大切な要素を確認します。一つは職業が元来受け手側に主導権があり、従って受け手側の意向に従う事が大切であること。そしてもう一つは職業を構成している仕事が常により良いものを目指しているべきであり、それは必然的により良い人生と一体であるというものです。

これらの条件の根底には二つの前提が存在します。それは第一に人間は例外なく不完全であり、互いに支え合って不十分なところを補って生きてその人生を全う出来るのです。第二にこの地球生命環境が有限で限定的であり、かつ全ての生きとし生ける物に平等に与えられたものであり、この二つは相互補完的なものであります。

松宮氏はさらに職業そのものが既に職業奉仕であり、その職業奉仕を会員に自覚させる事が出来るのはクラブ奉仕での親睦である、と帰結しています。ロータリー活動の親睦による自己改善の成果は自ずと自己の職業に対する姿勢を変化させます。この基本原則を生かしたクラブでの親睦こそが職業奉仕を「ロータリーの金看板」

たらしめる強い力となるに違いないのです。本日はロータリーの友より本田氏、松宮氏の蘊蓄ある職業奉仕の意見を大いに参考にさせて頂きました。そして私見も若干交えさせて頂きました。

＜幹事報告＞ 宮崎正文幹事

〈報告・予定等〉

- ・6/14(木)新旧 会長・幹事会
 - ・6/17(日)年度末地区役員合同会議
 - ・7/ 6(金)地域交流研修会
 - ・7/27(金)8/24(金)豊岡中学校区
夏休みパトロール
 - ・地区のあゆみ5 発刊
 - ・今週の土日トロント、RI 世界大会開催
- 〈お願い事項〉
- ・事業参加費不足の方支払お願いします

●委員長報告

＜親睦活動委員会＞ 木下登委員長

6月28日最終例会が「うかい鳥山」で行われます。是非とも大勢の方の参加をお待ちしています。送迎バスのお知らせを出席される方にはFAXいたします。又、本日18時半からの親睦活動委員会家庭集会への出席宜しくお願い致します。



●齋藤栄作エレクト



51・52・53代の会長の時に大野さんが中心となって、入間ロータリークラブ 50周年記念事業として計300万円を掛け、街路灯のLED化を行いました。この私たちの活動事業により入間市を動かし9000個すべてLED化設置をこれから行う様になりました事を報告します。

次にお陰様で、来年度の地区補助金2000ドルを受け取ることが出来ました。細淵さんの力添えと、吉岡さん早々に一緒に行っていただきありがとうございました。皆さんには本日回覧いたしております。

■ 五大奉仕委員長 事業報告 ■

■ 社会奉仕委員会 馬路宏樹委員長

先週の五大奉仕部門委員長発表に都合で欠席した為、本日時間をお借りして発表させていただきます。



関谷会長の発願でありますロータリー財団の地区補助金で入間南 RC と合同で社会福祉協議会に軽トラックを寄贈いたしました。2月5日には市役所にて寄贈式が行われました。

活動計画のうち、アイバンク登録運動とブライダル委員会活動の広報を例会で行いました。さきたま古墳群世界遺産登録推進運動では日本遺産に認定された行田市の事を紹介いたしました。

公共イメージと認知度の向上につながるため、両日とも雨の万燈まつりでしたが会員の皆様のお働きによりバザーを行い、希望の風奨学金に寄付することが出来ました。11月に延期された「地域交流会」においても例年と同様に参加して認知度の向上に努めました。

10月19日の例会には入間市クリーンセンター所長をお招きして卓話をしていただきました。因みに、当クラブの社会奉仕委員長はごみ減量委員会の委員になっていて、会員皆様の会社のゴミ減量を推進していくよう呼びかけると同時に街頭でのエコバック普及運動などを行っています。

また、5月26日には秩父にあるロータリーの森の清掃に石川会員他が参加をしていただきました。

年度計画に加治丘陵の保全活動に協力するとありましたが何も出来ずに終わってしまいました。以上ご報告申し上げます。



■ 会長・幹事・S A A 挨拶 ■

■ 田中快枝 S A A 挨拶 (宮崎幹事代読)

先ず初めに関谷会長、宮崎幹事、木下副 S A A には私の不注意のよりご迷惑をかけたまして申し訳ありません。

この1年間 S A A としての自分自身を振り返ってみますと、「活動計画」に“例会が円滑に進行するよう努めます”なんて書きましたが、開始2分前の案内も忘れ「時間だよ」なんて言われることも多々ありドタバタしたまま過ぎてしまったような気がします。そして、食事は皆様の関心も深く“楽しい例会にするには”という話になると1番先に出てくるのは“美味しい食事” 食いしん坊の私も“美味しい食事”にすべく試案をしたのですが、予算と丸広で用意していただく食事には限界があり、代り映えのしないものとなってしまいました。その他、多々反省点はありますが、1年間(約10カ月)皆様の多大なご協力を頂き無事に? S A A を終えることができました。7月から復帰しますので宜しくお願い致します。

■ 宮崎正文 幹事挨拶



皆さん、1年間幹事として役目を終わることになりました。何もできない幹事でしたがありがとうございます。では、まず自分が幹事になるまでのいきさつをお話しします。

ロータリーで今まで幹事という役は、誰かできる方がやっているのだろうと簡単に思っていました、全然関心がありませんでした。そんな時に、何かの集まりで急に関谷さんが「携帯電話の番号を教えてください」

と言われ、教えてしまったのが運のつきではなく、幹事の始まりだったのかもしれないでした。

その年は多分、平成27年の10月頃でしたので、幹事の始まる年の2年も前のことでした。そして、連絡をもらい、自分の会社に来られまして、関谷さんが「自分が会長の時の幹事をお願いしたい」と言われ、急だったのと自分が他のいろいろの役をしているので、無理ですとお答えしました。特に消防団の役がネックになっていて、もしかしたらその時に団長になっているかもしれないので、重ねて無理と言いました。それでも関谷さんは、引き下がらず、後日またお話ししますとその場は、お帰りになりました。その後、会うたびにどうかと言われ、少ししつこいなと思いましたけど、他の会員の方に話を聞いてみようかと思い、自分の先輩でもあり、ロータリーの紹介者でもある大野会員に相談し、幹事をやる時期的にもこの時しか無いのかなと思いい、前向きに考えて幹事を引き受けました。その後、何回か関谷さんと打合せを行い、昨年4月の駿河台大学で行われた地区研修・協議会を迎えたわけですが、最初から欠席してしまいました。これには訳がありまして、他団体の視察研修と重なってしまったのです。半年前から決まっていたものだから、申し訳ありませんでした。

5月に入り、現新理事会、第1回クラブ協議会と続き、6月西山年度の最終例会を「昭島の車屋」で迎えました。そこで吉沢前幹事へ、記念品を送ったような気がしました。

そしてとうとう7月第1例会を迎えてしまいました。初めての定例理事会が終わり、例会に入り、最初の幹事報告を行いました。何を言ったか覚えてませんか、多分何か言ったんだと思います。そして、幹事の就任挨拶、これも何を言ったか？

多分、「幹事の仕事は、クラブの事務管理を中心にした代表者の位置として考えられています。いろいろな書類の作成・保管・諸手続きを行うなど、大変な仕事です」なんて言ったような気がします。

7月第一例会は出席でしたが、第二週はまたまた、他の行事で欠席してしまいました。ただ、休んだのは、この日と3月の日帰り美術館の2回だけだと思います。今ま

でこんなに出席したことはありませんでしたので。

幹事になってびっくりしたことは、事務局からメールとFAXの多いこと、そして出席依頼も多く、これには本当にビックリしました。役所などの総会や会議、会長幹事会、会長が出席できない会議の代理、各委員会の家庭集会、そして事務局からの問合せなどなど沢山ありました。また、理事会の議事録の作成、幹事報告書の作成、そして事務局と会報担当へのメール配信など。

まだまだあります！

会員証の署名がゴム印でいいと思っていたら、自分で署名するなんて、何枚書いたことか。そして、事務局に行って請求書・領収書のチェック及び押印がありました。なんか、すごい仕事量だなと思いました。まだ請求書・領収書のチェックは残っています。

あと、理事会が開けない時に、臨時持回り理事会なんてあるとは思わなかったです。勉強不足です。例会場所が移動例会になると理事会の承認が必要だとは知りませんでしたし、幹事をやってみて本当に勉強になりました。

理事会では、ネパール支援でグローバル補助金とか、地区補助金で社協に軽自動車を寄贈するとか、いろいろと議論を戦わしてきました。この議論は、すごいなあと思いい、ロータリーって親睦の団体と思いいましたけど、やる時はやるのだなあと思いいしました。

そして、8月のガバナー訪問も無事に終わり、8月9月と順調に進み、入間南クラブとの合同例会、万燈祭りとも進みましたが、残念なことは予定していた研修旅行が中止になったことです。親睦委員長の木下さんが頑張っていたところですが、人数の関係で中止になってしまいました。行きたかったのですが、残念です。そして、12月に入りクリスマス例会、新年会、IMと続き、4月の地区大会が行田で行われました。

今年4月の現新理事会からは、次年度の体制へと準備が着々と進んでいるみたいです。

5月6月に入り、幹事の仕事もあと少しと思いい、6月に入ったら、もう終わりだ、幹事もと思いいましたが、やはり終わる

となると寂しい気持ちになります。この1年間で、新入会員は細田さん・山根さんが入会されました。ただ、悲しいことに山根先生が他界されました。寂しい限りです。また、お怪我をされ入院された方も多数おられました。滝沢会員、齊藤金作会員、会報の古川さん、そして今SAAの田中さんと。これからは、怪我病氣等に気を付け元気に行きましょう、みなさん。最後になりますが、本当に幹事をやらせてもらい、本当に勉強になりました。これからは、その勉強したことを仕事や人生に活かしていきたいと思えます。

そして関谷会長と齊藤エレクト、今はいませんがSAAの田中さん、事務局の奥田さん、古川さんに御礼と感謝を申し上げます。来週最終例会が「うかい鳥山」であります。1年間何もできない幹事でしたが、会員の皆様ご協力ありがとうございました。

■ 関谷永久会長挨拶



平成7年11月に入間ロータリークラブのチャーターメンバーであり入間市名誉市民でもあります、故人杉山定太郎様のご紹介をお受けして私は当クラブに入会させて頂きました。当時のクラブ会長は現在も元気で活躍をされておられます撰田順一会員であります。私のロータリークラブライフも経過してみると実に早いもので23年が経ちました。

当時のロータリークラブは会員が順調に入会増強されていたと思われま。

それは諸条件に恵まれて日本のロータリークラブの会員数も13万余人と高水準

を維持できていました。現在のようにRIや地区から会員の増強の号令は少なく、役員もその苦労は少なかったのではないかと思います。しかしご承知の様にリーマンショックの頃から会員数減少傾向が始まりました、そしてその傾向は20年経過した今に至っても大きな問題となっています。

扱て、一昨年指名委員長の山岸会員が私の所に来られ会長デジグネイトの依頼と指名を引き受けてから、私の会長としての心構えと準備が始まったのであります。その時山岸さんが「私を会長に推薦するが、本音のところは心配だ、だからしっかり頼むよ」と叱咤激励をして頂きました、有難いお言葉でした。何故ならその言葉が私の活動のエネルギー、糧となりました。

私は伝統と格式ある当クラブの会長を受けたからには出来る限りのことを私年度には実行したいとの炎が体中を駆け巡ったことを覚えております。そして数々のプロジェクトを行うに当たって、私は前もって心の準備や手続き上の準備もしておかなければならない事業計画などをルールに準じて整理した上で、順調に私の会長年度に入りました。計画通り年度に入って三週目に念願のネパール人道支援事業プロジェクトで、細淵会員、宮寺会員と奥様共々七名にて現地視察確認などを目的に行って参りました。これはロータリーグローバル補助金を利用してのクラブの大きな事業の出発点でありました。

本日はこの場をお借りして、本プロジェクトについて概要の説明を致したいと思います。

本事業は当初の予定(昨年9月申請手続き開始・11月正式申請)よりRI財団へのグローバル補助金(GG)申請書の提出が大きく遅れました。この事はその後の手続き等に直接影響を及ぼしました。この件は原因として一つに当地区ガバナーエレクトの選出が大幅に遅れた事が影響しているのは否めないと思えます。それでも本年四月に正式にGG申請書をRI財団に提出する事が出来ました。暫くして財団より申請内容等について問い合わせがありました。私達は関係者間にてメールなどで打ち合わせを行って再調査した上で回答を6月1日に提出する事が出来ました。現在に於いては

RI 財団より再質問が来るか、或いは本プロジェクト実行の許可が来るかの待ちの状態です。そして会員の皆様もご存知の様に、私達は今後のプロジェクトの遅れを見越してネパール補助事業プロジェクトの特別委員会を既に立上げております。それは年度越しでの本補助事業活動を確実に最後まで責任を持って行う為の理由からです。因みに現在の委員会委員は細淵さん宮寺さん滝沢さん後藤健さんと関谷です。今後ともご協力を宜しくお願いします。

次に、入間市社会福祉協議会への自動車の寄贈に付いては、当初より市内ボランティア団体の方が、高齢や障害などにより生活に不自由で困っている方々の手助けを行う為の運搬手段の求めに応じたものでした。このプロジェクトには別に大きな意義がありました。

子クラブでもある入間南ロータリークラブとのコラボレーション企画であります。それは二クラブだから実行予算が大きく利用できるだけではありません。その事業の企画及び実行を行うことで、そのプロセスを通して両クラブの一体感、会員同士の融和そしてフェロウシップを醸成出来る事を期待する目的もありました。

そして後になりましたが、他にも私達のクラブでは嬉しい出来事がありました。一つは山岸義弘会員が秋の叙勲を受けられた事です。そして、ご逝去された山根宏夫会員が叙勲された事は何れも当クラブの誇りであり、誠にお目出たい事でもあります。

私達のクラブは 2570 地区では稀にみる地区役員の方の多さです。今後ともご苦労様ですが地区での仕事とクラブのパイプ役にもなって頂き、共に活性化する事を期待しております。

そして難航しましたが、良い実がなった事として地区のガバナー補佐が細淵会員に決まった事は入間ロータリークラブの名誉なことである事は間違いありません。会長としてもガバナーの手足となり地区発展の為、頑張りたいと思います。

また今年度は細田会員、山根会員二名の方が入会されました。十分にクラブライフを楽しみながら奉仕の理念のもと私達と共に更なる自己改善を行って頂きたいと思っております。

最後になりますがこの一年間共に協力して頂いた役員の方、また苦勞を共にしてくれた宮崎幹事には心より感謝を申し上げます。

<出席報告>

一柳達朗委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
44 名	27 名	67.50%	80.49%

事前欠席連絡 5 名

<ニコニコBOX> 木下登副SAA

- ★山岸さん写真ありがとうございます。
「細淵克則君」
- ★メンバーハンディに恵まれりそな銀行のコンペで準優勝いただきました。
「後藤健君」
- ★一年間皆さんありがとうございました。
「関谷永久君、齋藤栄作君、宮崎正文君、田中快枝君、木下登君」

本日¥8,000 累計¥901,164

■回覧、配布物

- ① 埼玉県腎・アイバンク協会より理事長変更のお知らせ
- ② ロータリー財団への補助金申請決定のご案内
- ③ R I 2570 地区第 3 グループ会長幹事会・IM会計報告
- ④ 地区のあゆみ 5
- ⑤ クラブ週報 45 号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員：吉沢誠十 吉永章子 繁田光 間野尚 佐藤輝武



Rotary